

国際機関名 (英語略称)	生物多様性及び生態系サービスに関する政府間科学政策プラットフォーム(IPBES)
英文名称	Intergovernmental Science-Policy Platform on Biodiversity and Ecosystem Services (IPBES)
種別	<input type="checkbox"/> 国連事務局 <input type="checkbox"/> 国連事務局に設けられた信託基金 <input type="checkbox"/> 国連基金・計画 <input type="checkbox"/> 国連専門機関 <input type="checkbox"/> 国連その他補助機関 <input checked="" type="checkbox"/> その他国際機関 <input type="checkbox"/> 非国家間機関

【所管官庁担当局課・室名】環境省自然環境局自然環境計画課生物多様性戦略推進室

【当該国際機関の本部所在地・活動目的等の概要】

事務局所在地:ボン(ドイツ), 加盟国数:130か国(2018年11月現在)

概要:生物多様性及び生態系サービスに関する動向を科学的に評価し, 科学と政策のつながりを強化する政府間プラットフォームとして, 2012年4月に設立された政府間組織。科学的評価, 能力開発, 知見生成, 政策立案支援の4つの機能を柱とする。

【当該国際機関の財政(2017年)】(千米ドル)

出典:IPBES第6回総会(2018年3月)報告書

	総収入	総支出
分担金・義務的拠出金	-	-
任意拠出金	8,733	6,750
会計年度:暦年(1月~12月末)		
会計検査機関名:国連会計検査委員会(BOA) (構成員の出身国:インド, チリ, ドイツ)		

【任意拠出金の拠出上位5か国等】

出典:IPBES第6回総会(2018年3月)報告書

	国名	金額(千米ドル)	拠出率(%)
1位	ドイツ	1,271	30.8
2位	ノルウェー	651	15.8
3位	米国	500	12.1
4位	中国	398	9.7
5位	フランス	330	8
7位	日本【注】	203	4.9

【分担金・義務的拠出金の拠出上位5か国等 (年のもの)】

出典:

	国名	金額(千米ドル)	拠出率(%)
1位			
2位			
3位			
4位			
5位			

【我が国による拠出の形態】

分担金・義務的拠出金の名称及び主管官庁:

任意拠出金・出資金, 基金の名称及び主管官庁:生物多様性及び生態系サービスに関する政府間科学政策プラットフォーム(IPBES) 拠出金及び地球規模生物多様性情報機構(GBIF) 拠出金, 環境省

【当該国際機関で働く邦人職員(事務局本部のデータ)(2017年12月末時点)】

邦人職員数	0人	当該機関全体の職員数	12人
うち幹部以上	うち0人	及び邦人職員が占める率	0%

【邦人職員が占めている幹部ポスト(Dポスト以上)】

ポストの名称	職員氏名	備考

【要人往来, 政策対話等の実績】(過去3年分)

2017年7月 高橋地球環境審議官とIPBES事務局長との会談、亀澤自然環境局長とIPBES事務局長との会談
2015年8月 亀澤審議官とIPBES事務局長との会談

【備考】

【注】我が国は、「任意拠出金の拠出上位5か国等」に記載の額以外に、日本に設置された技術支援機関(TSU)へ17,000千円を拠出。